

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2025年度(令和7年度)第5回理事会議事録

1. 開催日時 2026年1月23日(金)15:00-17:30

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 17名 (定足数11名)

4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 阿部 なつ江

理事 河宮 未知生

理事 高橋 幸弘

理事 沖 大幹

理事 成瀬 元

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 大谷 栄治

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 田近 英一

理事 長谷川 直子

理事 堀 利栄

理事 宮嶋 敏

理事 村山 泰啓

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

監事 松本 淳

出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクション幹事 松田 昇也

大気水圏科学セクションプレジデント 佐藤 薫

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

地球人間圏科学セクション幹事 南雲直子

固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡

情報システム委員会委員長 興野 純

ダイバーシティ推進委員会委員長 若狭 幸

環境災害対応委員会委員長 宮地 良典

学協会長会議議長 徳永 朋祥

国際コーディネーター 末廣 潔

審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件（道林理事）

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 新委員承認の件（道林理事）

・環境災害対応委員会、ジャーナル編集委員会の新規委員を審議した。これを承認した。

第 3号議案 「JpGU基本方針・中長期目標・計画TF」の創設について

・JpGU基本方針・中長期目標・計画タスクフォースの設置を検討した。これを承認した。
主査を原田理事、副査を阿部理事として設置する。

セクションと地球惑星科学総合から選出された委員で構成されているので、地球惑星科学の将来について検討するには適している一方、JpGUとしての運営、財政や事務局体制などの検討が十分できない場合には別の場を設けるなどの検討をしてほしいという意見があった。JpGUは研究をする団体ではなく研究をする人々ためのコミュニティであるので、コミュニティの将来や基本指針を考える場となるのが望ましいという意見があった。

第 4号議案 U01セッション Great Debate招待講演者投稿料・参加登録料免除の件

・U-01 セッション Great Debateの招待講演者の投稿料および参加登録料を免除することを審議した。参加登録料免除のガイドラインに従い、以下の2名の投稿料および参加登録料の免除を承認した。

- 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局参事官補佐
- TCGU代表者

第 5号議案 若手ネットワーク小委員会について（若狭委員長）

・若手ネットワーク小委員会の設置について審議した。設置に伴い、ダイバーシティ推進委員会規則第3条に小委員会の設置を記載する。これを承認した。

報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

○各種活動報告

・故西田篤弘フェローの追悼研究集会が開催されるため、出席する予定である。また、ご遺贈に対する感謝状を準備している。

・AOGSのウェブサイトにも、JpGUが協力している旨が表示されている。JpGU-AGU Joint Meetingと同年に同じ日本での開始となったが、両大会が盛況となるように協力したい。

○理事の選出について

・外部理事の選任に関する検討について報告があった。外部理事の人選については明確に定めていない。学協会長会議議長に推薦を求めるという案が示された。徳永議長より、理事会でもし決定されれば学協会長会議にその旨打診をするという返答があった。

・他の学協会でも、学会関係者以外の方を外部理事・外部監事として選任したという情報提供があった。他の学協会での動向などの情報を収集するのがよいという提案があった。

・外部理事候補の候補者推薦委員会への推薦方法については3月の理事会で決定する。その際、具体的な候補者名が挙げられれば審議する。

・役員候補者がジェンダー等のバランス、多様性、公平性、平等性、包摂性等を十分考慮に入れて検討することに資するため、選挙によらない理事会からの推薦を検討する。この候補についても3月の理事会で審議する。

・3月の理事会後、役員候補者推薦委員会を開催し、選挙結果、外部理事候補および理事会から推薦する候補をもとに検討し、候補者リストを作成する。5月の理事会で審議し、承認されれば、6月に予定している社員総会で審議する。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・ AGUと協力してジョイント大会の準備を進めている。
- ・ 地学オリンピック、地理オリンピックとの協力体制について田近理事と協力して整理している。
- ・ 堀理事がEGU Champion(s) for Equality, Diversity and Inclusion Awardを受賞した。
- ・ ウェブサイトへの受賞情報の掲載について検討している。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

- ・ 第3号議案で承認された「JpGU基本方針・中長期目標・計画TF」の副主査として、準備を進めている。

4. 原田 尚美理事 職務報告

- ・ 報告を省略した。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・ 財務関連の報告を行った。スポンサーの募集についてAGUとの協力のもと進めている。AGU Meetingの会場で、出展者に宣伝を行った。予算の枠として「リーダーシップ予算」を定めた。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・ 国際連携をしている学会にも参加を呼び掛けている。
- ・ Earth Observation Australiaの幹部と面談する予定である。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- 総務関連の活動報告があった。
- ・ 後援等の報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- 財務に関する報告があった。
- ・ 2026年度予算の作成状況について報告があった。
- ・ ホームページに寄附に関する報告のページを作成した。
- ・ システムリプレイスの第1回目の支払いを今月末に予定している。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○大会運営関連の報告があった。

- ・投稿受付が無事開始した。
- ・投稿料・参加登録料について報告があった。
- ・ハイブリッド大会参加多様化促進の募集開始について報告があった。AGUの国外参加学生の募集も開始した。
- ・日英の高校生発表セッションの準備状況について報告があった。
- ・プレナリートーク、表彰式、巡検、懇親会、NGTなどのイベントについて報告があった。
- ・AGU本部兼プレナリートーク講演者控室を202、プレスルームと寄附者ラウンジの位置の変更など会場配置を検討している。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

○グローバル関連の報告があった。

- ・AGU参加報告、プロモーションビデオ作成の進捗状況、大会でのFriendsブースの準備、International Mixer Luncheonの検討中、英語化アンケート分析への対応案について検討している旨、報告があった。
- ・Experts Decry U.S. Withdrawal from Climate and Environmental Organizations and TreatiesへのサインについてAGUから呼びかけがあった旨、報告があった。JpGU会員にも案内することとした。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

○広報普及関連について以下の活動報告があった。

- ・広報小委員会活動報告：定期メールニュースを発行した。
- ・普及小委員会活動報告：高校生のための冬休み講座の開催報告があった。申し込みは80名であった。東北大学理学部と共催で「ぶらり学forハイスクール」の開催を予定している。
- ・JGL編集小委員会活動報告：2月号の発行準備を行っている。参加者増加に資するように鋭意編集中である。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

○環境災害対応関連の報告があった。

- ・環境災害対応関連の報告があった。セッション開催の準備を行っている。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

○ダイバーシティ推進関連の報告があった。

・ダイバーシティ推進関連の報告があった。EGUのEDI委員会からブース利用の呼びかけがあり、検討している。

・ユニオンセッションの開催準備を進めている。招待者の投稿料・参加登録料をダイバーシティ推進支援助成について報告があった。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

○教育関連について報告があった。

・3月8日に中学高校地学教育関係者情報交換会の開催を準備している。教育検討委員会で審議ののちあらためて報告する。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

○情報システム関連の報告があった。

・シエル・ゼロ社とシステムリプレイスの工程を進めている。緻密なスケジュールが定められており、現在は要件定義の段階である。JpGUの大会や業務についてもよく理解しようという姿勢が伝わり、前向きに協力体制が築かれている。

○RDMタスクフォースの報告があた。

大谷理事より、RDMタスクフォースの活動報告があった。体制変更してさらに継続的な活動を検討したい（例：小委員会等）。GRANTS Data（JST）が完成したことや、AGU等とのオープンデータについての継続的な協力の必要性などが背景にある。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事理事）

○ジャーナル関連の報告があった。

・論文の数は増加しているが、レビュー論文の数が減少している。インパクトファクターは上昇傾向にある。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

○顕彰関連の報告があった。

・各賞の審査を進めている。

・2026大会では三宅賞受賞者レクチャーを開催しないという報告があった。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後17時30分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2026年1月23日

出席理事 ウォリス サイモン 印

出席理事 小口 高 印

出席理事 阿部 なつ江 印

出席理事 河宮 未知生 印

出席理事 高橋 幸弘 印

出席理事 沖 大幹 印

出席理事 成瀬 元 印

出席理事 道林 克禎 印

出席理事 和田 浩二 印

出席理事 大谷 栄治 印

出席理事 小口 千明 印

出席理事 掛川 武 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事 長谷川 直子 印

出席理事 堀 利栄 印

出席理事 宮嶋 敏 印

出席理事 村山 泰啓 印

出席監事 鈴木 善和 印

出席監事 春山 成子 印

出席監事 松本 淳 印